

令和五年七月九日 神寿しんじゅの集い

神 示

夫婦で「教え」を学び 「心の道」に良き因を残す夫婦を目指す
この思いが 二人の心を強くつなぎ

「真実の愛」をますます育てる

仕合せ・「幸福」を手にする 家庭の姿が ここにある

「夫婦めおとの印いん」を 神より授かる二人の出会いは

「教え」に生きて ますます深まる

神寿を受ける二人に申す

「和のある家庭」の姿を知り

二人で「家庭」を築き 守る心はいかに

二人それぞれの 任と立場を 忘れず 欠かさず

愛情をかけ合う二人であれ

この思いを 二人で大切にすることで

我が「家庭や」は二人で守ってゆける

六つの花びらは

愛情を夫婦二人でかけ合うならば 自然と芽吹く

二人で築き 守る 二人の家庭に 良き因が生まれ 残り

子孫に受け継がれる

人間は 「和のある家庭」に身を置くことで

実体を修正し合って 仕合せを味わう

互いの運命は ますます重なり 補い 支え合って

生きがい多い人生を歩み抜ける

神寿こころの真理を大切に 仕合せ・「幸福」手にする二人であれ